

信じる力を支えるかに

くきCAP通信



2021年夏号



くきCAP連絡先



Mail



HP



FB

Tel◆090-8104-7038
Mail◆kuki_cap@yahoo.co.jp
HP◆<https://kukicap.jimdo.com>
FB◆<https://www.facebook.com/kukicap/>

くきCAPは、子どもへの暴力防止プログラム「CAP(キャップ)」を埼玉県内で実施している団体です。子どもたちがいじめや、虐待、体罰、誘拐、連れ去り、チカン、性暴力などのあらゆる暴力から、自分のこころとからだを守るために、「安心」「自信」「自由」という「大切な3つの権利」を伝え、暴力にあわないために何ができるのか、もし暴力にあったときに何ができるのかを、一緒に考え、練習しています。

繋がること

2年ぶりのくきCAP通信となりました。その間も変わらず、活動をご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございました。昨年度は、メンバーも普段の生活や仕事、そしてCAP活動で予測できなかった変化にも直面し、戸惑ったり、心配になったり、何となく慣れてきたり、何とか対応をしたり・・・を続けた1年だった気がします。コロナ禍で大変な思いをしている子どもたちやおとなの方がいるとわかっているのに積極的に動けないというもどかしさも少なくなかったとも思います。

そんな中で力になったのはやはり「つながること」でした。なかなか対面では会えませんでした。様々な方法で繋がる努力を続け、メンバー同士や他CAPグループ、県内の他団体やそこにいる人、あるいは行政など逆に繋がりが深くなったところもあります。きっかけのなかった団体や人と繋がることもできました。得られた情報や知識、視点や刺激は勿論、話をする事、聴いてもらうことの大切さをしみじみと感じられた1年だったと思います。

だからこそ、今年度はより一層、CAPを通じて、「なんか大変だな、元気がでないなと思ったら、話をきいてもらったり、助けてもらったりしていいよ」「いやだな、怖いと感じたときにはこんなことができるよ」「あなたは大切な人」などのメッセージを子どもたちやおとなの方々に伝えていきたいと思っています。今後ともくきCAPの活動へご支援・ご協力をいただけますようどうぞよろしくお願い致します。

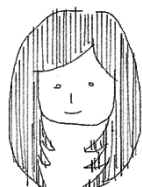
くきCAP代表 増田知巳

スタッフ紹介

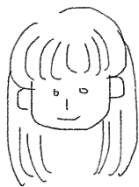
11名のメンバーで稼働しています。
名前はグループ内での呼び名です。
メンバーのCAPへの思いやメッセージを
HPからご覧いただけます。



ともさん



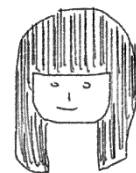
きよさん



かよさん



けいちゃん



さっちゃん



としさん



もりちゃん



かめちゃん



ひろみちゃん



まちこ



みずちゃん

活動報告



2020年度 CAPワークショップの実施

講座依頼を受けてのおとなワークショップ・子どもワークショップ、および、一般公開講座として地域のおとなワークショップを実施しました。(参加人数：おとな 計 103 人、子ども 計 23 人)

2020年度に実施した全ての講座は、NPO法人CAPセンター・JAPANのガイドラインを元に徹底した感染予防対策を行って開催しました。

担当者コメント

児童養護施設ふれんどでは、幼児・小学生・中高生に分け、順繰りに毎年1回ワークショップを受けています。今年は中高生対象です。小さい時から入所している子は、すでに2回目、3回目の子もいます。「安心・自信・自由」の権利が自分にはあるということを知らずに生きてきた子どもたちに、そのメッセージを数年に1度改めて伝えて頂く機会を今後も大事にしていきたいです。(児童養護施設ふれんど CAP担当 心理士 矢板さん)



感染者数が少ないときも、フェイスガードと透明マスクを着用し、表情が見えるよう工夫しながら対策しました。



ソーシャルディスタンスを取りながら開催した公開講座。

NPO法人CAPセンター・JAPAN主催 子どもへの暴力防止のための基礎講座 in 埼玉

2020年11月6日(金) 埼玉会館
7日(土)、8日(日) ソニックシティ

いじめ・親からの虐待・体罰・知っている人からの性暴力・誘拐・連れ去りなど、子どもへの暴力に関する報道は後を絶ちません。地域で子どもを支える人たちのための連続3日間・計24時間の講座の開催に協力しました。



講座後のNPO法人CAPセンター・JAPAN講師のお2人とくきCAPスタッフたち。(撮影時のみマスクを外しての撮影)

参加者コメント

講座の中で印象的だったのはくしつけは子どもが自己コントロール(自律)できるように手伝うもの、体罰は外からのコントロール(他罰)でした。「体罰のおかげで今の自分があると肯定している人もいます。その人は結果的に良かったと思っているかもしれませんが、本当に体罰という選択肢しかなかったのでしょうか？」この言葉が心に刺さりました。体罰という暴力がなくとも、子どもが成長できる世の中になることを願います。(ふるやさん)

講師の方は非常に受容的なので安心して自分の意見を言うことができました。子どもでもおとなでもその経験が自信、自由に繋がるのだと実感しました。講座では自分が当たり前だと思っていた事が実は間違いだという事が沢山ありました。知らない事を知るというのは自分にとって財産になります。今回CAPで学んだ事を生かしていくには自分自身の意識改革が必要です。様々な問題を知り、多角的に物事を考えていきたいと思えます。(児童養護施設職員 山田和賀子さん)

さいたま市主催

女の子の命と安全を守る講座

2020年8月8日(土)～1週間程度オンライン配信

さいたま市男女共同参画推進センターからお話をいただき、小学校の子どもたちへの性暴力から子どもの心とからだを守るために、保護者が適切な情報・スキルを持ち、日常生活で予防の観点を持って実践するための講座を行いました。本来は対面でのワークショップを予定していましたが、コロナ禍の状況を鑑み、NPO法人CAPセンター・JAPANとの協働で動画を作成し、オンラインでの限定配信にて実施となりました。

【第1回】「気をつけなさい」って言ってない？ 1

子どもへの性暴力とは

【第2回】「気をつけなさい」って言ってない？ 2

子どもへの性暴力の子どもへの影響、および「子どもがなぜ話さないか」

【第3回】わたしにできる応急手当

被害を受けた子どもの話の聴き方・子どもが性暴力に遭ったときのサイン

【第4回】わたしにできる予防的日常生活

子どもを守るために、日常生活でできることや相談機関について



子どもワークショップをマスクをつけて安心して体験していただきました。



みんなで一緒に安心・自信・自由のポーズ。



担当者コメント

性被害や性教育について詳しくない方でも分かりやすい講座だと思えます。受講すると「これも性暴力だったのか」「犯罪者は身近に潜んでいるかもしれない」と意識が変わると思います。特に、被害を受けた子どもの異変に気づくためのポイントが印象的でした。子どもの様子がおかしくても「性被害を受けた」とは、なかなか思いつかないでしょう。予防からケアまで教えていただけるので、とても参考になると思います。(自治体職員 Kさん)

埼玉県児童虐待防止サポート講座

2021年2月より公開

くきCAPが参加している「CAPグループ埼玉県連絡協議会」が動画作成に一部協力しています。「SKIPシティチャンネル」にて、オンライン公開されています。

【前編】基礎的な知識を学ぶ(12分22秒)

【後編】予防的な関わり方を学ぶ(20分15秒)

<http://www.skipcity.jp/channel/>

担当者コメント

児童虐待の防止のためには、早期発見・早期対応が大切です。埼玉県では、児童の未来を守るため、一人ひとりが虐待を見逃さず、互いに支えあうことのできる社会を目指し、幅広い方々を対象にした「埼玉県虐待防止サポート講座」を企画しました。動画配信なので、コロナ禍でも安心して受講ができます。是非ご覧ください。

(埼玉県福祉部こども安全課 廣瀬文章さん)

ひとひと 女と男いきいきネットワーク久喜 展示『コロナ禍の子どもの未来を考える』

2021年1月9日(土)～29日(金) 久喜市役所1階ロビー

くきCAPが参加している「ひとひといきいきネットワーク久喜」の展示『コロナ禍の子どもの未来を考える』にて、メインテーマの「児童虐待防止」の展示をくきCAPが担当しました。子ども虐待防止オレンジリボン運動「公式ポスターコンテスト2020」の受賞作ポスターの展示、くきCAPの子どもへの暴力防止活動の紹介や、子ども支援・子育て支援・女性支援を行う多くの団体の活動紹介を行いました。

様々な団体があることを知っていただき、またそれぞれの活動がつながることで、さらなる児童虐待防止になればと思います。



展示会看板とポスター



くきCAPの展示

団体紹介



キャップ CAPセンター・JAPAN

<http://cap-j.net/>

キャップCAPセンター・JAPANは、子どもが毎日を安心安全に暮らすことができるよう、子どもへのあらゆる暴力(子どもの心とからだを傷つけることすべて)を予防する活動として、人材育成、啓発、情報提供事業などを行っています。

認定NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク

<http://www.orangeribbon.jp/>

「認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク」は、子ども虐待の防止にかかわるさまざまな団体と連携し、児童虐待防止法制度の改正や児童福祉施設基準の見直しなどを求めるソーシャル・アクション、オレンジリボン運動を中心とする、子ども虐待防止のための広報・啓発活動を行っています。

社会福祉法人 子どもの虐待防止センター

<https://www.ccap.or.jp>

虐待から子どもを守り、親への支援を行う民間団体です。子育てに関する電話相談、グループなどを行っています。

【相談電話】03-6909-0999

【開設時間】平日 10:00～17:00

土曜日 10:00～15:00

NPO法人 埼玉子どもを虐待から守る会

<https://www.scap.jp/>

埼玉県で子どもを虐待から守るためのネットワークを作りたいという願いからスタートした団体です。子どもに対する虐待を予防し、子どもの最善の利益を守る活動をしています。現在は電話相談や講演会などを行っています。



NPO法人 ぷるすあるは

<https://pulusualuha.or.jp/>

精神障がいやこころの不調、発達凸凹を抱えた家庭や、さまざまな事情の中で、頑張っている子どもたちを、絵本やウェブサイトなどの情報コンテンツを通して応援している団体です。著書に、子どものサバイバルブック『生きる冒険地図』（2019, 学苑社）ほか。サイト「子ども情報ステーション」<https://kidsinfost.net/> を運営。全てのイラストは精神科の看護師チアキが担当。

特定非営利活動法人 パープルネットさいたま

<https://purple-net.jimdofree.com/>

DVから離れても暴力被害の影響に悩む女性と子どもたちに対し、心理教育プログラム「びーらぶ」、「心のケア電話相談」などの心のケアの活動や、自立支援を行っている団体です。また、女性と子どもの人権の確立と男女共同参画社会の実現を目指して活動しています。



ホームスタートくき@こどもむら

[メール] hs@kodomomura.ed.jp

[電話] 0480-53-7244 (平日 9:30~17:00)

埼玉県久喜市で活動する子育て支援団体。研修を受けた地域の子育て経験者(ビジター)が訪問する「家庭訪問型子育て支援ボランティア」です。お話をゆっくり聴き、孤立感や育児の悩みの解消、地域とのつながりのお手伝いなど、楽しく子育て出来るよう応援します。ご利用は無料です。

マタニティハウス

<http://kodomomura.ed.jp/maternity.php>

利用料無料、平日 13:30~15:00 オープン

[メール・電話] ホームスタートくき@こどもむらと同じ

埼玉県久喜市栗橋地区にある初妊婦支援活動。地域との繋がりを持つことや心の隙間を埋めることによって、充実したマタニティライフが送れるようサポートします。悩みを相談したり、助産師による沐浴体験・妊婦体操、栄養士による離乳食づくりなどもあります。

子育てネットワーク・久喜んこ

<https://kukinko.web.wox.cc/>

埼玉県久喜市久喜地区で活動する子育て支援団体。「子ども」のを知ること、一人一人違うことを認め合うこと、地域に顔の見えるつながりが広がることなどを目的にしています。情報交換会やおしゃべりサロンなどの交流事業や講演会などを実施しています。

子育てネットワーク・ハッピー！

<https://ameblo.jp/washimiyakosodate/>

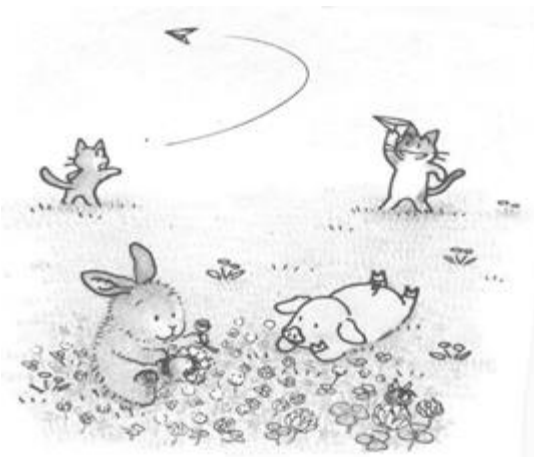
埼玉県久喜市鷲宮地区で活動する子育て支援団体。『より楽しい子育て』を願って活動を開始しました。子育ての悩みを解消する交流の場として、赤ちゃんサロン、子育てをより楽しめる講座やイベントなどを実施しています。



くきCAPのHPの団体紹介ページでもご覧いただけます。チラシ画像の掲載がある団体さんもあります。

ご協力ありがとうございました！

参加したおとなたちの声



- ◆ 本日、CAPを初めて知り、どのようなことをしているかが良くわかりました。講習の中で「問題児は問題を抱えている子」「困った子は困っている子」という言葉を聞いた時に色々な考えが変わった様な気がしました。問題を抱えている子は沢山いるはずなのでその子たちの問題を少しでも理解して、不安と一緒に取り除いていきたいです。
- ◆ 小さな子ども向けのワークショップを体験し、「怖がらせない」ということとても大事にされていることに感銘を受けました。（“劇”であることを終わりの拍手などでしっかり伝える、など）
- ◆ 女性差別という言葉は知っていたが、子ども差別という言葉もあり実際あることを知ることができた。
- ◆ 「～してはいけない」「～しちゃだめ」とよく聞くけれど、それができなかつたときに自責の念を感じやすいということは発見だったし、自身の体験としても納得いきました。エンパワメントの視点が大切ということ役立てていきたいです。
- ◆ 子どもに聞きにくい話をする際の質問の仕方について、子どもが答えやすい方法で聞くことが大切と知った。子どもが話をしに来てくれたことに対して「話してくれてありがとう」と感謝することが大事だと気づいた。
- ◆ 「なぜ」という聞き方が良くないとは知っていたが、「なぜ」というワードにあなたが悪いというメッセージが含まれてしまう時があるという事は初めて知りました。
- ◆ よかれと思つての助言やアドバイスを求められていないのについ言つてしまっていたので、ただ黙つて聴こうと思ひました。

ご
ざ
い
ま
し
た

あ
り
が
と
う

ご
参
加



くきCAP応援サポーター（年会費 3000 円） & 「フリージア事業」への寄付を募集中です！

（ゆうちょ銀行）

記号：10380 番号：20317561

（ゆうちょ銀行以外） 銀行名：ゆうちょ銀行

店名：〇三八 口座：普通2031756

*名義はどちらも「クキキャップ」です。

「フリージア事業」は、白血病で亡くなった元代表・遠藤好子さんが好きだった花の名前をつけた基金です。寄付していただいたお金は、子どもワークショップの実施補助に活用させていただきます。ぜひご支援ご協力お願い致します。

